

議題 2 令和 6 年度（令和 7 年 1 月まで）の状況について

1 入館者数（開館日数）

月	開館日数	入館者数	備考
4月	26日間	4,063人	企画展「めでたきとり」開始（4/27～）
5月	27日間	4,642人	
6月	26日間	2,896人	企画展「めでたきとり」終了（～6/9）
7月	26日間	3,025人	企画展「石器時代を生きる」開始（7/13～）
8月	27日間	3,484人	企画展「石器時代を生きる」終了（～8/25）
9月	25日間	1,818人	
10月	27日間	2,880人	企画展「土井利位」開始（10/5～）
11月	26日間	5,379人	企画展「土井利位」終了（～11/17）
12月	24日間	2,430人	
1月	24日間	2,538人	
2月	—	—	
3月	—	—	
合計	258日間	33,155人	

8月4日（開館1,567日目） 累計20万人達成

2 企画展の開催

年に3回企画展を開催し、刈谷地域の歴史の学習やさまざまな歴史資料に触れる機会を提供する。

(1) 開館5周年記念企画展「めでたきとり」

ア 会 期 4月27日（土）～6月9日（日）（開催期間39日間）

イ 観 覧 料 有料 一般600円（各種割引あり[100円引]）

中学生以下、障害者及び付き添い1人は無料

ウ 観覧者数 4,020人 うち有料入館者 1,758人

エ 展示品数 59件

オ 印刷物 ポスター、チラシ、図録（有料頒布、1冊2,000円）

カ イベント 講演会

- ・5月11日（土）「愛知の鳥だより」

講師：加藤博俊氏（環境省公園指導員）（聴講40人）

- ・5月26日（日）「近江八景の成立と展開－落雁モチーフに注目して－」

講師：大原由佳子氏（文化庁文化財第一課）（聴講39人）

展示説明会

・4月28日(日)

講師：永井優香子(当館学芸員)(聴講12人)

この他、関連イベントとしてギャラリートーク、鳥とのふれあい体験、愛鳥週間ポスター原画展等を実施

(2) 「石器時代を生きる」

ア 会 期 7月13日(土)～8月25日(日) (開催日数38日)

イ 観 覧 料 無料

ウ 観覧者数 4,622人

エ 展示品数 563点

オ 印刷物 ポスター、チラシ、解説パンフレット

カ イベント 講演会

・7月14日(日)

「縄文時代文化への夜明け—旧石器時代の文化変動を乗り越えて—」

講師：白石 浩之氏(愛知学院大学名誉教授)(聴講64人)

この他、関連イベントとしてギャラリートーク、石器づくり体験、ナイトミュージアム、愛知教育大学連携イベント等を開催

(3) 「刈谷生まれの雪の殿さま 土井利位」

※文化庁「地域ゆかりの文化資産を活用した展覧会支援事業」による補助金を活用

ア 会 期 10月5日(土)～11月17日(日) (開催日数38日)

イ 観 覧 料 有料 一般600円(割引予定あり[100円引])

中学生以下、障害者及び付き添い1人は無料

ウ 観覧者数 1,883人 うち有料入館者数1,121人

エ 展示品数 66件

オ 印刷物 ポスター、チラシ、解説パンフレット(外国語・子ども)

図録(有料頒布、1冊1,200円)

カ イベント 講演会

・10月6日(日)「天保の改革とはなんだったのか—その狙いと戦略—」

講師：荒木 裕行氏(東京大学史料編纂所准教授)(聴講47人)

・10月26日(日)「天保改革と土井利位—海防掛老中を中心に—」

講師：針谷 武志氏(別府大学教授)(聴講48人)

展示説明会

・10月12日(土)

講師：長澤 慎二(当館学芸員)(聴講19人)

この他、関連イベントとしてギャラリートーク、雪の結晶製作体験等を実施したほか、キャプション等での外国語対応、愛知教育大学留学生モニターツアーを実施

3 常設展の開催

3ヶ月に1回程度展示替えを行い、刈谷の歴史に関する実物の資料を常時公開する。展示替えに合わせてギャラリートークを行う。

4 歴史文化の教育普及

刈谷地域の歴史文化に対する誇りと愛着を育むため、歴史文化について学ぶ機会を広く提供する。

(1) 歴史文化体験講座の開催

5月から令和7年2月まで月1回開催（年10回）

例：香木体験（お香入門）、クラフトバンドリースしめ縄づくりなど

(2) 簡単工作の開催

土・日・祝日に開催。（夏季、秋季には一部平日開催）

参考：参加者数のべ2, 274人

(3) 市内小中学生の館内見学・体験学習の支援

・中学校1年生の「歴史ひろば」及びバックヤード見学（5月～7月）

他、子ども向けの歴史相談や体験講座

・子ども歴史体験講座、子ども歴史相談の実施

・アウトリーチプログラム

博物館の実物資料を教室へ持ち込み、指導主事が授業を行う。

「縄文時代の刈谷」、「戦争中の刈谷の様子」、「水野勝成」（市内小学校6年生6校で実施）

(4) ミュージアムシアターの上映

講座室にて「刈谷偉人伝」等のDVDを毎日上映。

(5) 古文書講座（初級編）の開催

初級編を令和7年1月から3月までの間、5回の連続講座を開催（申込者数48人）

(6) 歴博ゼミナールの開催

令和7年2月9日（日）開催予定「野田八幡宮所蔵の甲冑について」

講師：西岡文夫氏（文化庁認定選定保存技術保持者）

(7) 刈谷の歴史講座・ふるさとガイドボランティア養成講座の開催

11月から12月までの間、5回の連続講座を開催（うち3回は刈谷の歴史に関する講座）※歴史に関する講座のみの受講も可とし、ガイド会員含む受講希望者を広く受け入れた。

（受講者5人、うちガイドボランティア入会者2人）

（講座のみ受講23人、うちガイドボランティア会員9人）

(8) 出前講座

市民グループや団体等からの依頼があったときに出張して講座を行う。

(9) 博学連携ニュースの発行（年2回）

学校向けに、社会科教育研究会での利用や、アウトリーチ活動の情報を提供

5 博物館事業の啓発・広報

博物館事業（企画展等展覧会や普及活動等）の啓発や広報等を行う。

- (1) 刈谷市歴史博物館ホームページ及びX（旧 Twitter）の運営
- (2) 市民だよりへの情報提供
企画展や関連イベント、歴史体験講座の案内等随時掲載
博物館収蔵品の紹介（歴史散歩、かわら版、月1回）
- (3) 博物館ニュースの発行
企画展の案内や企画展・収蔵品に関する小論等を掲載
年3回、6月末、9月末、令和7年3月末に発行
- (4) 博物館かわら版の発行（年3回程度）
企画展やイベント周知用のかわら版を制作し、小学校に配布
- (5) 令和5年度年報の発行（10月）
- (6) 研究紀要の刊行（令和7年3月頃発行予定）
学芸員等による調査・研究の成果を掲載
- (7) 博物館要覧の刊行（令和7年3月頃発行予定）
- (8) オリジナルグッズの制作・販売
クリアファイル・メモ帳等を販売。企画展に合わせポストカード等の製作及び受託販売

6 博物館資料の収集・保存・管理

(1) 収集

資料収集方針に基づき、寄贈・寄託資料受入。刈谷の歴史に関わる重要な資料を資料購入要綱に基づき、古書店等から購入

購入資料

典籍	『尾陽古戦場書拔 全』	1点
浮世絵	「わる者酒呑次 杳作娘はま路他 三枚続」	1点
浮世絵	初代歌川広重「五十三次名所図会 池鯉鮒」	1点
浮世絵	二代歌川広重「東海道五十三次 ち里う」	1点
浮世絵	五粽亭（歌川）広貞「風流六歌仙絵」（六枚続）	1件
浮世絵	三代歌川豊国（国貞）「見立三十六歌撰之内 在原業平朝臣」	1点
古文書	土井利位書簡（跡部山城守宛）	1点
古文書	土井利位書状（片桐主膳正宛）	1点
古文書	刈谷市旧家文書一括（藤井清七関係資料）	1件
刷物	碧海郡刈谷町松秀寺境内万燈式細工物	1点
古書	観察絵本キンダーブック [第14輯第10編]	1点
古文書類	宍戸弥四郎関係資料 ※資料購入検討委員会開催（書面）	1括

(2) 保存・管理

館内の適切な温湿度環境の維持及び虫害の防除（通年実施）

収蔵品の修復及び什器の製作
資料の燻蒸（1回実施）

7 郷土資料館との連携

- (1) 各種事業への職員相互派遣
週末開催イベント、市内小中学校見学対応など
- (2) 広報活動
各種イベントの周知を連携して実施
- (3) 展示への資料提供
資料の管理は歴史博物館で対応

8 市史資料の整理及び活用

- (1) 市内外に存在する資料の調査・収集・整理・保存
- (2) 収集資料の閲覧用紙焼本の製作
- (3) 資料閲覧室における閲覧対応

9 発掘調査出土遺物の整理及び活用

- (1) 出土遺物の注記・接合作業
- (2) 発掘調査報告書（宮東第1号貝塚発掘調査報告書（平成30年度調査））の作成
（令和7年3月末刊行予定）

10 市内文化財の保護保存及び啓発

- (1) 文化財の修理及び維持管理事業への補助
 - ・市指定文化財「専光寺のクスノキ」樹勢回復
 - ・市指定文化財「井ヶ谷古窯跡群松根第3号窯」の除草
 - ・市指定文化財「地獄の絵巻物」修理（～令和7年度末）
- (2) 史跡めぐりの開催
年3回開催（刈谷ふるさとガイドボランティアの会へ委託）

11 その他の主な実施事業

- (1) 収蔵品管理システムの管理
歴史資料の一部公開に向けた写真撮影及びデータの整理
- (2) 資料収蔵庫の設計及び整備
城町図書館の解体予定に伴い、寺横町（市有地）に資料収蔵庫の整備を行うため、基本設計を実施。2月から工事開始
- (3) 施設の管理
樹木管理、清掃業務、点検業務等を委託

(4) 博物館実習

8月21日(水)～28日(水)(24日(土)～26日(月)は休日)の5日間実施
修了者 8人(愛知大学、愛知学院大学(2人)、愛知県立大学、愛知県立芸術大学、京都文教大学、三重大学、立命館大学)

(5) その他

- ・登録博物館への新法による再登録(令和6年10月23日付)
- ・公開承認施設への申請(文化庁からの回答待ち)
- ・愛知県博物館協会理事館としての活動
- ・文化庁等が主催する学芸員研修の受講
古文書保存基礎講座(2日間・九州国立博物館)
埋蔵文化財担当職員等講習会(3日間・山形県埋蔵文化財センター)
ミュージアムPR研修(3日間・オンライン)
- ・能登半島地震における文化財レスキューへの参加(1週間×2人)
※日本博物館協会の呼びかけに応じる形
- ・市民からの調査・問合せ(レファレンス)対応